

秋のライティング支援連続セミナー

知識と言葉をめぐる冒険～体験記～

「文書リテラシー」 さんなみ ちほみ 三波 千穂美 先生（図書館情報メディア系）

Lesson 1

小論文とレポートの違いはわかりますか？

11月13日（水）15:30～16:30

中央図書館ラーニング・アドバイザー

洪 昇基（人間総合科学研究科）

セミナーの中で先生が最も多くおっしゃった言葉は、「目的」という言葉でした。セミナーのタイトルにもなっている、「小論文とレポートとの違い」というのは、それぞれの目的が違うとのことでした。先生は、この概念をよりわかりやすく説明するため、「文書の名前」を例として挙げてくださいました。

“世の中には数え切れないほど様々な文書が存在していますね。公文書の中には法律、免許書、登録台帳、稟議書などがあり、私文書の中には契約書、請求書、企画書、報告書、会議録といった文書があります。これらの名前がみな異なるのは、文章の目的が異なるからです。”

さらに、先生は文書の目的を把握した上で「文書を書く前にやるべきことを考える」ことを、私たち学生が最も頻繁に書くレポートを例として挙げて話してくださいました。先生は、レポートは「報告」という目的が設定されており、それを読む先生は授業によって変わってくるので、まず読む対象を把握することが大事であり、またそのレポートが求められている場面も変わってくると仰いました。レポートに入れるべき情報、つまり要素というのは「目的・対象・場面」の三つから決ま

ることを教えてくださいました。

先生のこのお話を聞いて、自分の過去の酷いレポートを思い出しました。確かに、書く時間が予定より長くなったり、内容がなかなかまとまらなかったり、レポートの作成が進まなかった原因は、この「書く前にやるべきことを考える」という大事な段階を踏まず、いきなり机に座って一文字目から書きはじめたからでした。

それ以外にも、先生は他人の文書を引用する時の注意点、適切な引用の条件、適切な文体について沢山の例を挙げて分かりやすく説明してくださいました。

私は今回のセミナーを受けて、文書作成において「目的をはっきり把握し、目的に従って文書作成の計画を立てる」ということの大事さをあらためて教えて頂きました。セミナーの内容は、基本中の基本にも関わらず、意識していないと忘れがちになるので、これからは今回の先生のお話を念頭においてレポート作成に取り組みたいと思いました。また、セミナーの最後には、集まった学生たちがライティングに関するあれこれを気軽に先生に聞いたので、レポートや論文を書く方にはいい機会だと思いました。



Lesson 2

情報を構造化する

11月14日(木) 15:30~16:30

中央図書館ラーニング・アドバイザー

金 瑜眞 (人文社会科学研究科)

三波先生のセミナーは、「世の中のコミュニケーションの多くは文書によるもの」という言葉から始まりました。

自分の言いたいことを伝えるためには、聞き手に「伝わる環境」を作ること。「客観性」を持ち、聞き手に分かりやすい文章を作成すること。「めんどくさい」けど、ここは努力。

という先生の話から「論文」を書くことをついつい甘く考えていた自分の詰めの甘さが身に染みしました。

次に、先生は、論文を書くためには「構造化」が必要であるとおっしゃいました。「構造化」は4段階から成り、

- 1) 目的と対象を理解する ⇒見渡す
- 2) 素材データの収集 ⇒集める
- 3) 情報の分類・整理(組織化)
⇒分ける／並べる
- 4) 情報の構築 ⇒組み立てる

で表すことが出来るとおっしゃいました。

また、先生は分かりやすい論文を作成するための過程を見せてくださいました。

- ①アウトラインを作る
- ②「はじめに」を書く
- ③調査・実験、結果、考察についての文章と図表を作成する
- ④「終わりに」を書く
- ⑤「はじめに」を直す。全体のバランスを再検討する
- ⑥図表番号、キャプション、目次、抄録、注、引用・参考文献。書式等を書く

先生は論文の書き方は色々あるけれど「はじめに」を先に書いておくことで自分の考察能力が深まるとおっしゃいました。普段、私は「はじめに」を最後に書くことが多かったのですが、先生のこの一言を聞き「目から鱗」のような気がしました。また、得られたデータから結果を語るときに、この結果からは何は言える、何は言えないかについて客観的に考えるべきだとおっしゃいました。手元にあるデータから言えないことまで推測し強引に考察に繋げてしまうことは、ついついやってしまうことですが、先生は「すべてを言う必要はない。出来なかったものは次につなげれば良い」と説明してくださいました。

研究において必要な姿勢を色々学んだ大変貴重な時間でした。

Webサイトはこちら。

<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/w5lib/?p=3401>



今回のセミナーから、スタンプラリーを実施しました。参加回数に応じて、素敵な図書館グッズがもらえます。継続は力なり！！